

令和8年度(2026年度)海外チャレンジ塾運営業務 企画提案仕様書

1 事業目的

本県の高校生を対象として、英語力をはじめ、国際社会で活躍するために必要な能力・資質の育成及び海外大学進学のための支援等を行う講座等を実施し、中高生の夢の実現を支援するとともに、本県のグローバル人材の育成の推進を図る。

2 事業実施期間

令和8年(2026年)4月1日から令和9年(2027年)3月19日まで

3 事業内容

海外大学を目指す生徒に必要な資質の向上、能力の取得、英語運用能力の向上、TOEFL・SAT等のスコアアップ、英文エッセイ対策、進路相談、海外大学出願等を支援する講座等を実施する。

(1) 対象者：高校卒業後に海外大学進学を目指す高校1年生～3年生

＜要件＞・英語レベルが英検2級相当以上

・海外大学進学を目指す生徒(国内大学併願も含むが、海外大学に必ず1校は出願すること)

・継続受講が可能。

(2) 定員：25人程度

(3) 講座の実施内容：

学年ごとにクラスを分けて実施し、「海外進学までのスケジュール(一例)」を参考に、各学年で必要な講座内容を企画・運営すること。

実施 項目	概 要
受講者の管理	次に掲げる受講者情報を把握、管理し、必要に応じて県に報告すること。 ・基本情報(学年、氏名等) ・講座出欠状況 ・進路希望先 ・英語外部検定模試等の結果
集合講座	次に掲げる集合講座を10回程度実施する。 【英語運用能力の向上】 ・多角的な視点と論理的思考を養うとともに、問題解決、表現、議論する力を育成する英語と日本語を使用した講座。 ・スピーチ、プレゼンテーション、ディベート等の取組を通して、英語運用能力を高める。 ・受講者同士の協働活動を通して学びが得られる環境づくりをする。 【海外大学進学対策】 ・TOEFL、SAT等のスコアアップ、英文エッセイ作成等に要する知識・思考法等の技能向上を図る講座を実施する。 【グローバル未来留学フェアの運営】 ・集合講座10回のうち1回については、県で実施する「グローバル未来留学フェア」と併せて実施する。 ・県と連携して登壇者との調整や資料の準備を行い、当日の運営を行う。

実施 項目	概 要
英語力強化オンライン 講習	【英語力強化】 <ul style="list-style-type: none"> ・難関大学進学（米国アイビーリーグ等）への進学に必要なレベルまで TOEFL、SAT 等のスコアアップが図られるよう、各受講生の英語力に応じたレベルで受講できる対話形式の英語オンライン講習を実施する。 ・受講生一人一人に細かな指導を行う。 ・講習は受講生 1 人につき、4 回程度/月。 ・自宅受講を前提とする。
進路相談等	【個別面談での進路相談等】 <ul style="list-style-type: none"> ・全受講生を対象に、進路確認とカウンセリング、必要な情報提供や相談対応を電話や電子メール、オンラインを利用して行う。 ・高校 3 年生には、適宜、海外進学の出願手続や進路相談、学習、奨学金に関する助言等を行う。
海外進学に関する サポート	【英文エッセイ対策通信講座】 <ul style="list-style-type: none"> ・英語エッセイ添削・指導。 【出願等へのサポート】 <ul style="list-style-type: none"> ・出願先大学の提案、出願手続の説明、出願書類作成や事務手続等へのサポート。 ・出願英文エッセイの添削・指導。 ・英文推薦書（学校等が作成）取得サポート。 【渡航準備サポート】 <ul style="list-style-type: none"> ・渡航、進学に向けて必要な手続きの説明、サポートを行う。
英語力 把握	【英語力の把握】 <ul style="list-style-type: none"> ・全受講生に TOEFL iBT 模試等を受講当初と終了時の計 2 回受験させ、英語力を把握する。
その他	県が実施する海外大学進学及び留学に関する他事業と連携する。

海外進学までのスケジュール（一例）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高校1年		海外進学に関する情報収集・英語試験対策・課外活動											
高校2年		海外進学に関する情報収集・英語試験対策・課外活動					英語試験対策・受験、大学選定、奨学金に関する情報収集						
高校3年	奨学金申請	応募先の決定	応募・出願準備開始 ・自己分析完了 ・英語スコアの取得 ・課外活動の結果や受賞歴等			エッセイ等含む応募書類作成→応募→書類審査「・面接→結果発表							
	大学出願	大学の選定				出願書類作成 ・エッセイ ・推薦書 ・成績証明書 等			出願→結果発表→入学手続き				
高校卒業後		ビザ取得等の渡航準備			渡航・進学(学校により時期は異なる)								

（４）県との情報共有

定期的に県と打合せ（オンライン）を実施し、事業の進捗状況や受講者の情報について報告すること。

（５）受講者選考に関する助言、受講の成果、課題等の分析と対応策の提案

- ①受講者選定基準や受講者の選定について、必要に応じて助言を行うこと。
- ②受講者の英語力に対する分析を行い、英語力や海外進学に必要なスキル向上のための対応策を提案すること。
- ③受講者全体の英語力や講座の受講を通じた変化、傾向等を分析し、今後取り組むべき対策

等について具体的な提案を行うこと。

- ④その他、海外チャレンジ塾全体を通じた成果や課題等の分析を行い、今後の海外チャレンジ塾の取り組みとして有効と思われる対策等があれば、提案を行うこと。

(6) その他海外進学支援及びグローバル人材育成に資する提案・助言

今後の熊本県における海外進学の促進やグローバル人材の育成に資する施策について、提案・助言を行うこと。

(7) 海外チャレンジ塾卒業生のリスト更新とその活用についての検討・助言

海外チャレンジ塾における内容充実のため、海外等に進学した元塾生に連絡を行い、講座やセミナーへの参加・助言を得られるよう、その趣旨について説明し、同意を得たうえで、その卒業生情報を更新して県に提出すること。

また、リスト化された卒業生を本事業や関連する事業で活用することについて検討及び助言を行うこと。

4 完了報告

次に掲げる業務の実施内容を取りまとめた報告書を成果品として提出すること。

- ・ 講座の実施内容及び受講者の出欠状況
- ・ 受講者の英語外部検定模試等の結果
- ・ 3（5）及び3（6）の内容

5 その他

- (1) 本業務の遂行に要する一切の経費は委託費に含めるものとし、受託者において支払いを行うこと。
- (2) 受託者は、本業務において知り得た情報については、他人に漏らし、又は自己の利益のために利用することはできない。委託業務終了後も同様とする。
- (3) 個人情報の保護については十分留意し、流出等が生じないようにすること。
- (4) 原則として、本業務の全部又は一部を第三者に再委託することはできない。但し、県と協議の上、合理的に必要な範囲で業務の一部を再委託することは妨げない。
- (5) 本業務の制作物等（電子データも含む）の著作権（著作権法第27条及び第28条の権利を含む。）及び使用权は、全て熊本県に帰属する。
- (6) 本業務の実施については、この仕様書に定めるもののほか、必要に応じて別に定める。
- (7) 各業務実施の様子を撮影した写真の県広報への活用や報道機関への提供について協力すること。